

一宮西高 同窓会報

第23号 2008年7月7日発行

発行：一宮西高校同窓会事務局
一宮市萩原町串作字河田1番地 〒491-0376
TEL (0586) 68-1191 FAX (0586) 69-0196
E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp

思い出の野球部



同窓会副会長 川出孝行

盛夏の候 同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは、西高同窓会の運営にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。早いもので、西高を卒業して三十五年が過ぎてしまいました。当時のことは、今でもしっかりと記憶に残っています。私は、小さい頃から野球が大好きで、中学校でも野球部に所属していました。西高を受験しようと思った時、野球部がないというこ



今年の東海総体に出場した陸上部のメンバーです

とは知っていましたので、入学してから野球をやりたい仲間と作れば良いと考えていました。しかし、それは、そんなに甘いものではありませんでした。まず始めに同級生に呼びかけをし、さらに中学時代の先輩方にも相談に乗っていただきました。「野球をしたい」「野球部を作ってほしい」と活動してはみえませんが、それだけでは認められないまま、「なかなか難しいと思うよ」といわれてしまいました。しかし、「それで諦めては何も始まらない！」ということ、とりあえず署名運動をしました。そんな中、仲間の間から、「野球部

を作るより野球同好会という名の所でやったほうが少しは簡単じゃないか？」という声が上がりました。ところが活動し始めると、同好会組織自体が生徒会規約で認められていないという事実を知り、断念せざるを得ない状況になりました。とても悔しい気持ちでした。そうこうするうちに、一年はあつという間に過ぎ、一緒に活動していた十数名の同級生も五名ほどになってしまいました。心細くなつていましたが、新一年生も加わり、野球をするというよりは、どうしたら生徒会や職員会議で認めてもらえるのかをじっくり話し合うようになりました。そして、次のような内容の原案を提出してみました。まず、クラブ活動費の上限を他のクラブの最高額よりも超えないことや、グラウンド内にピッチャーマウンドを作らないなどの条件を付けました。また、運動場は、公立高校の中でも二番目の広さなので、野球をするには十分な広さがあるということも伝えました。職員会議で検討していただいたのですが、結果は、時期尚早ということで認めってもらうことはできませんでした。半ば諦めかけていたところ、「神風？」が吹いてきました。昭和四十八年から学校群制度の導入が決まつており、そうなれば、クラブ活動を選択する際にも、一宮高校との差を最小限にするべきではないかという意見も出されました。それが影響したのかは分かりませんが、私が三年生の七月に野球部が設立されました。今更ではありますが、当時の杉浦校長先生を始めとする諸先生方、先輩、同級生、後輩の皆さん、本当にありがとうございました。また、野球部の発足後も、一緒に設立活動をしていた塚本監督の下、夏の甲子

園愛知大会で二度のベスト8に輝くなど、その活躍ぶりを大変うれしく思っています。さて、毎年お願いばかりで大変恐縮とは存じますが、昨年度より、会費を一律二千元、協力金として一口千円を会員の皆様にお願



修学旅行



体育祭

いいですことになりました。大変な負担をおかけしますが、よろしく願いました。最後にになりましたが、皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。お願いがたご挨拶とさせていただきます。

平成20年度 同窓会総会のお知らせ

(全日制第3回生・第23回生学年同窓会
同時開催)

日時 8月9日(土) 午後5時より
場所 一宮スポーツ文化センター
会費 5,000円(学生は3,000円)

同封のハガキで出欠をお知らせください。
※来年度は、第4回生・第24回生(昭和45年卒・平成2年卒)の学年同窓会を計画しております。

